



# 鴨池中だより

鴨の中の 一つの鴨と見てみたり

校長室から  
協同 自律 根性

## 鹿児島学習定着度調査の結果

○基礎的知識・技能の習得状況を把握し、児童生徒の学習定着度を調査した。調査結果は、今年度の調査結果と比較し、概ね向上していることが確認された。特に、国語・数学の分野において、読解力・計算力などの基礎的知識・技能の習得が顕著であった。一方で、英語の分野においては、リスニングの理解力が課題とされている。今後の学習指導においては、基礎的知識・技能の定着を図るとともに、応用・発展的な学習にも取り組んでいく必要がある。

全体通過率 (%)

学年	学校	国語	社会	数学	理科	英語
		1年	本校 74.8	48.7	76.5	64.2
	県	75.9	54.4	74.3	66.3	77.0
2年	本校	69.8	73.7	70.8	66.2	78.3
	県	65.6	62.3	68.8	66.9	71.4

○進め方に沿って学習している児童生徒の割合が増えている。特に、国語・数学の分野において、読解力・計算力などの基礎的知識・技能の習得が顕著であった。一方で、英語の分野においては、リスニングの理解力が課題とされている。今後の学習指導においては、基礎的知識・技能の定着を図るとともに、応用・発展的な学習にも取り組んでいく必要がある。

○英語 1年生は、英語の基礎知識・技能の習得が課題とされている。今後の学習指導においては、基礎的知識・技能の定着を図るとともに、応用・発展的な学習にも取り組んでいく必要がある。

○数学 2年生は、数学の基礎知識・技能の習得が課題とされている。今後の学習指導においては、基礎的知識・技能の定着を図るとともに、応用・発展的な学習にも取り組んでいく必要がある。

○国語 3年生は、国語の基礎知識・技能の習得が課題とされている。今後の学習指導においては、基礎的知識・技能の定着を図るとともに、応用・発展的な学習にも取り組んでいく必要がある。

先日、「鹿児島学習定着度調査」の結果を職員研修で行いました。以下に各教科における今後の取組の一部を掲載します。

### 【国語】

漢字については、漢字で熟語のみを練習するのではなく、前後の文章を含めた漢字の使い方や学習することができるよう穴埋め問題や漢字テストの際には前後の文章を含めた区別をつけさせる取り組みを行う。

### 【英語】

英語の内容を正確に読み取るために、教科書本文を利用し、概要を問う問題を本文解説前に取り入れ、初見の英文も躊躇なく読める力を身に付けさせる。学習した文法を取組んで活用問題を長文に慣れさせる宿題や、授業中の英語の練習を習慣化し、基礎的知識・技能の定着を図る。

### 【理科】

理科の学習では、3年生で「式の計算」を学習する際に、小テストや定期テストを利用して、再度押さえていきたい。

### 【数学】

数学の学習では、2年生で「データの活用」を学習する際に、平均値・中央値・最頻値などを説明し、実際のデータを比較・分析する時間を設け、互いの説明を聞いて理解を深める学習の定着を図る。

### 【社会】

社会の学習では、1年生で「日本の国土・人口」を学習する際に、地図や統計表などを用いて、日本の特徴や人口の増減などを理解させる。

### 【保健体育】

保健体育の学習では、2年生で「健康と生活習慣」を学習する際に、食生活や運動習慣の重要性を理解させる。

### 【音楽】

音楽の学習では、1年生で「音楽の基礎知識」を学習する際に、音楽の歴史や楽器の仕組みなどを理解させる。

### 【美術】

美術の学習では、2年生で「美術の基礎知識」を学習する際に、美術の歴史や作品の鑑賞などを理解させる。

### 【家庭科】

家庭科の学習では、1年生で「生活の基礎知識」を学習する際に、生活のルールや食生活の重要性を理解させる。

## 今月の学校の様子



今年度最後の学年・学級PTAが行われました。



【学年末テスト】義務教育最後の定期テストに真剣に取り組む3年生。

日	曜	3月(弥生・March)の主な行事
5	火	公立高校入試 2年クスマッチ
6	水	公立高校入試 1年クスマッチ
7	木	立志のつどい
8	金	3年クスマッチ
11	月	卒業式予行 同窓会入会式 卒業式準備
12	火	第77回卒業式
13	水	公立高校合格発表 学級生徒会・専門部長会
20	水	(祝)春分の日
22	金	小学校卒業式
25	月	修了式 離任式

## ☆表彰☆

- ☆第33回「椋鳩十文学記念館賞」全国読書感想文コンクール 入賞 3年
- ☆令和5年度神園旗中学校野球大会 Bパート 準優勝
- ☆第76回鹿児島県書道展 南日本書道会賞 1年 硬筆の部 県書道会賞 1年
- ☆第55回鹿児島市春季ソフトテニス大会 2年女子の部 第3位

## 校長室から

だいぶ前になりますが、こんな話を聞いたことがあります。「花瓶にさしてあるバラの枝の二つの蕾の一方には『汚い花だ』と言いつける。もう一方の方には『可愛い花だ』、美しい花だ、すてきな花だ」と暇さえあれば言い続ける。すると三日目になるとほめ続けた方の蕾は見事に美しい花を咲かせたのに、もう一方は半開きの美しい花しか咲かせなかった。花に人間の言葉が理解できるかどうかは別として、花にも自分がどう関心を持たれているかで、咲き方に変化があったという実験結果が出たようです。花ではなく人間ならもっと心や身体に及ぼす影響は大きいのではないのでしょうか。

インドで貧しい人々のために尽くし、ノーベル平和賞を受賞したマザー・テレサは、「愛の反対は無関心である」人間にとって一番辛いのは、自分の存在を認められない無関心さだと言っています。また、彼女は「人間にとってもっとも悲しいおぼきことは、病気で貧困でもない、自分はこの世に不要な人間なのだと思ってしまうことだ」とも言っています。友達、クラスメイト、学年・学校の仲間、そして地域の人々がお互いに関心を持ち合っていくこと、そのものが愛だと言っています。

相手に関心を示し、暖かい言葉かけをしていくことで人間関係はより深まっていくのだと思います。「ゆく言葉が美しい」という韓国の諺もあります。「私はあなたに関心を持っているんですよ」というような明るくて暖かい、そして美しい言葉かけをしたいものです。

